

名古屋大学

国語国文学

99

2006年12月

- 『小町集』における「山里」
- 屏風絵の「山里の女」との関わりから - 服部 友香 (1)
- 『源氏物語』邸宅の伝領と「家」意識 吉村 悠子 (15)
- 『源氏物語』の描写方法と空間構築
- 空間の明暗を軸として - 山本ゆかり (29)
- 漢詩にみる夏目漱石の「愚」と「痴」 陳 妍伶 (45)
- 「転図字書」の発生と盛典
- 『韻鏡』研究における理論と実用 - 中澤 信幸 (65)
- 現在の高等学校国語科現代文分野の指導を考える 寺井 一 (98)
- 書評 塩村 耕著『近世前期文学研究-伝記・書誌・出版-』 長島 弘明 (99)
- 多門靖容著『比喩表現論』 川端 元子 (110)
- 安藤 徹著『源氏物語と物語社会』 亀田 夕佳 (111)

名古屋大学

国語国文学会

編集後記

会誌九十九号をお届けします。

今回の論文は、日本文学四本、日本語学二本です。次号は、百号の記念号となり、来年は一冊の刊行です。そのために締め切りは六月末です。ふるつての投稿をお願いいたします。

後藤重郎先生のご訃報をお伝えしなければならぬ号ともなっていました。先生のご功績に感謝しつつ、ご冥福をお祈り申し上げます。伝統の重みをあらためてかみしめ、学会を充実させていくことにより、ご学恩に報いたいと思います。

皆様のいっそうのご支援をお願い申し上げます。

(高橋 亨)

名古屋大学国語国文学 第九十九号

印刷 平成十八年十二月八日

発行 平成十八年十二月八日

編集 名古屋市千種区不老町

名古屋大学文学部内

名古屋大学国語国文学会

(代表) 高橋 亨

〈振替 00860-0-19333〉

TEL (〇五二) 七八九-二三四二

内線 二三四二

印刷所

名古屋市瑞穂区苗代町二九-二〇

株式会社 アイコー社

TEL (〇五二) 八二二-九五二一